

福証IRフェア（オンライン）

2020年12月21日

 **日創プロニティ株式会社**

証券コード：3440

代表取締役社長 石田 徹

- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 今後の事業展開
- 4 業績の概況と今後の見通し

会社概要・沿革

商号	： 日創プロニティ株式会社 （英文表記：NISSO PRONITY Co., Ltd.）
本社	： 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野2-10-25
事業内容	： 金属加工事業、ゴム加工事業、建設事業
営業拠点	： 本社、東京営業所、福島営業所
製造拠点	： 山田工場（福岡県嘉麻市） 福島工場（福島県石川郡） 吾孺ゴム工業株式会社（群馬県）
関連会社	： 日創エンジニアリング株式会社（東京都） 綾目精機株式会社（広島県） 株式会社ダイリツ（愛知県）
代表者	： 代表取締役社長 石田 徹
設立	： 1983年9月
資本金	： 1,176百万円
市場区分	： 東京証券取引所市場第二部、福岡証券取引所 証券コード：3440
発行済株式数	： 7,360,000株
決算日	： 8月31日



ISO9001

沿革

1983年9月	日創工業有限会社を設立
同上	福岡県山田市（現福岡県嘉麻市）に山田工場を開設
1986年12月	福岡市南区に福岡工場を開設（1992年6月閉鎖）
1991年12月	福岡県糟屋郡志免町に志免工場を開設（1999年12月閉鎖）
1996年7月	福岡県糟屋郡篠栗町に篠栗工場を開設（1999年12月閉鎖）
1997年9月	日創工業株式会社に組織変更
同上	福岡県山田市（現福岡県嘉麻市）上山田へ山田工場を移転
1999年9月	鹿児島出張所を開設（2013年10月閉鎖）
1999年12月	山田工場に第2棟を増設
2000年9月	山田工場の隣接地に工場用地を取得
2000年12月	ISO9001認証取得
2001年1月	山田工場に第3棟を増設
2005年4月	山田工場に第4棟を増設
2007年3月	山田工場に第5棟を増設
2007年4月	日創プロニティ株式会社に商号変更
2007年8月	福岡証券取引所Q-Board市場に上場
2011年2月	東京営業所を開設
2011年12月	大阪営業所を開設（2018年11月閉鎖）
2013年8月	福島県石川郡石川町に工場用地を取得
同上	仙台営業所を開設（2016年2月閉鎖）
2014年3月	福島工場を開設
2014年6月	福島営業所を開設
2016年3月	吾孺ゴム工業株式会社（現・連結子会社）の株式を取得
2016年4月	日創エンジニアリング株式会社（現・連結子会社）を設立
2017年4月	綾目精機株式会社（現・連結子会社）の株式を取得
2018年3月	株式会社ダイリツ（現・連結子会社）の株式を取得
2019年7月	東京証券取引所市場第二部に上場、 福岡証券取引所Q-Board市場から本則市場に市場変更
2020年1月	福岡市南区より同区内に本店所在地を移転

社名の由来

Processing (プロセッシング) = 加工

Progress (プログレス) = 前進

Infinity (インフィニティ) = 無限大



キーワード = 「加工」

PRONITY プロニティ

▶グループ経営理念：日々創造

当社の創業の精神であり社名の由来でもある「日々創造」は、日創グループに所属する私たちの精神的支柱であり、また日々の業務の現実的な指針です。私たちは、短期的な課題に対しても、長期的な課題に対しても、「日々創造」する企業集団であり続けます。

Always Create, Always Progress

▶グループミッション：価値の創造

私たちは、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大し（事業の多角化）、新たな価値を創造していくことを通じて、社会に貢献してまいります。

▶グループビジョン：加工の総合商社

「加工の総合商社」が私たちの進むべき方向であり、常に追い求める企業グループ像です。私たちは、グループビジョンに向かって、エンドレスに挑戦を続けます。

- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 今後の事業展開
- 4 業績の概況と今後の見通し

事業セグメント

ゴム加工事業

住宅、機械、公共インフラ設備等に使用するゴム製品の企画、設計、加工、販売

吾孺ゴム工業株式会社（連結子会社）

製品

金属加工
製品

グループ
シナジー

ゴム加工
製品

日創プロニティ株式会社（当社）

金属加工事業

太陽電池アレイ支持架台、金属パネル、空調用ダンパー、精密切削加工他、金属加工製品等の企画、設計、加工、販売

綾目精機株式会社（連結子会社）

製品

株式会社ダイリツ（連結子会社）

グループ
シナジー

金属加工
製品

建設事業

上記に付随する建設事業
太陽電池アレイ支持架台、
金属パネルの設置工事

日創エンジニアリング株式会社
（連結子会社）

施工

お取引先様

建築・建材、環境・エネルギー、工場・プラント、駐車場、仮設・プレハブ、半導体、農業、畜産、車輛部品等広範囲な業界に向けて各種金属加工製品を提供。

オーダー加工品 = ユーザーからの多様な個別仕様のオーダーに基づく製品

「オールインワン加工体制」の持つメリットを最大限に活用し、顧客のニーズに対応。主要製品としては、太陽電池アレイ支持架台、太陽光発電システム搭載型カーポート（ソーラーネオポート）、耐火パネル、不燃断熱パネル等の各種金属パネル。



①太陽電池アレイ支持架台



②太陽光発電搭載型カーポート



③レジストウォール（耐火パネル）

企画品 = 一定の規格に基づく量産品

ユーザーに対して提案商品として企画した製品。主要な製品としては、波板・折板等屋根材、壁材等建築用内外装材、各種金属スレートやデッキプレート等。



⑤金属屋根材



④金属壁材

山田工場

企画品

特徴 = セミオーダーも
可能な量産品

敷地面積： 35,000m²

プレス・ロールフォーミング・
切断・曲げ・切削・組立・溶接

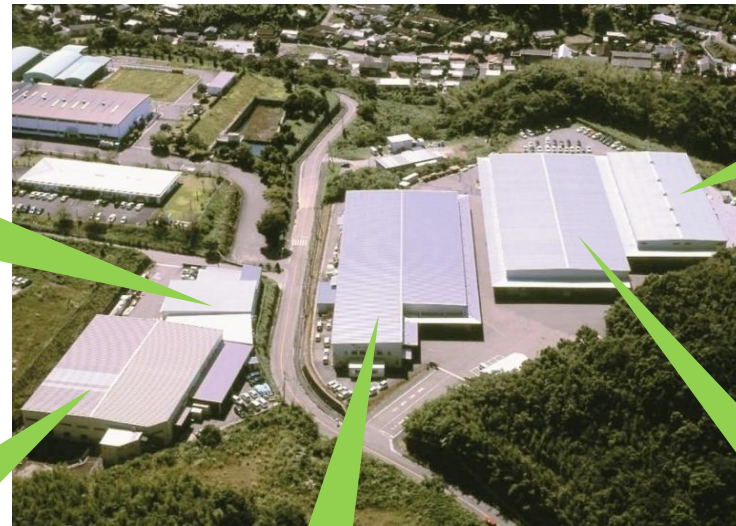
オーダー加工品

特徴 = 多品種なものを
オーダーにより加工

第1工場



プレスによる企画品の生産

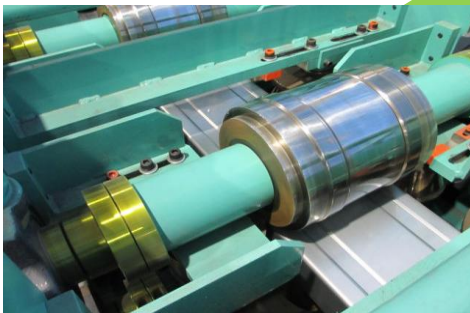


第5工場



切削・組立・溶接など

第2工場



ロールフォーミングによる
企画品の生産

第3工場



切断・パンチング・
曲げ・パネル加工など
オーダー加工による
特注品の生産

第4工場



切断・不燃断熱パネルの生産

福島工場

2014年より**東日本のものづくり**を支える

敷地面積：41,418m²



主な生産設備

- ◆太陽電池支持架台成型ライン
- ◆タレットパンチマシン
- ◆プレスブレーキマシン等

耐火パネル施工例



◇耐火パネル使用用途◇
大型物流倉庫、食品・半導体工場等の間仕切りとして使用

パネルライン



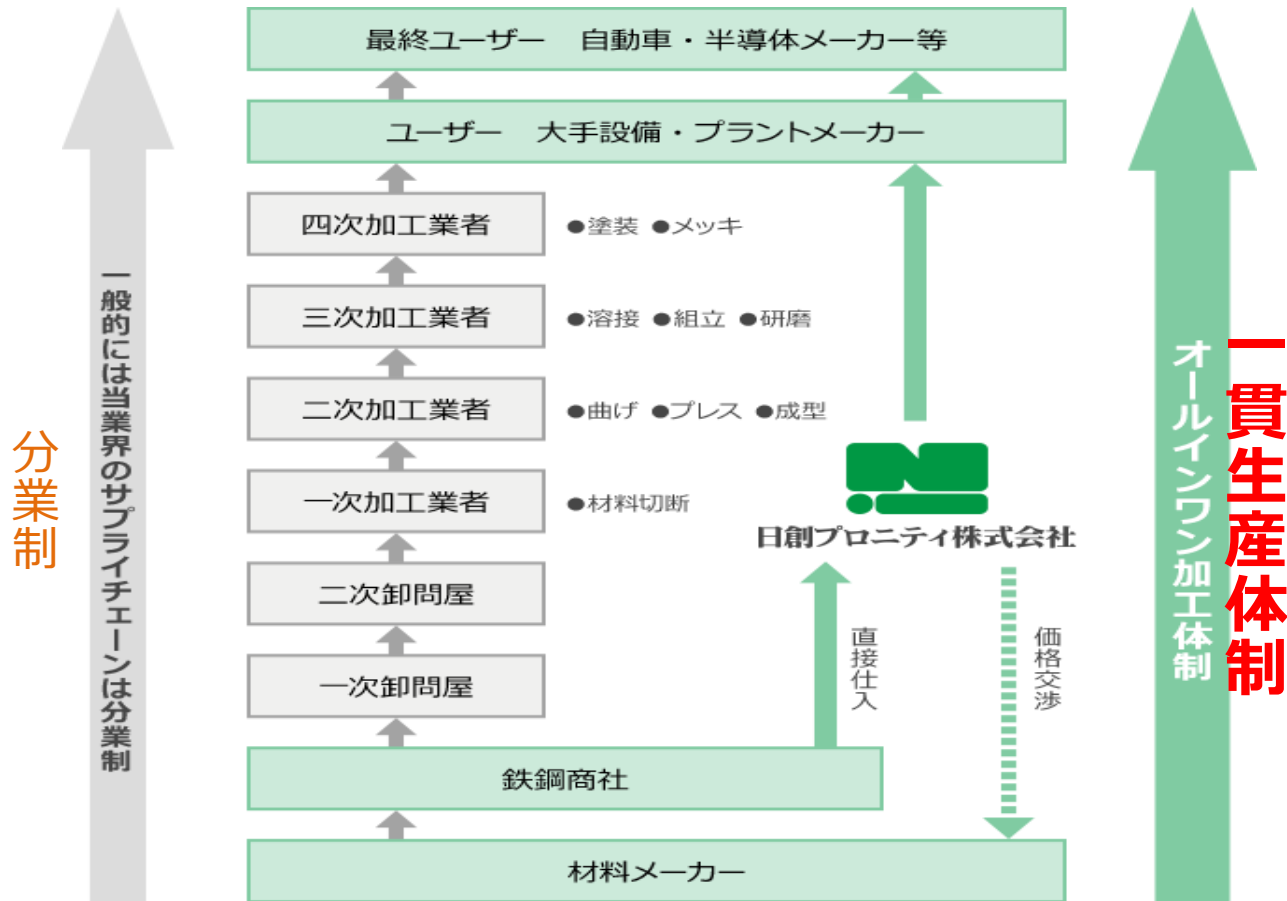
パネル芯材をロボットで自動供給



ホットプレス



オールインワン加工（サプライチェーンの一元化）



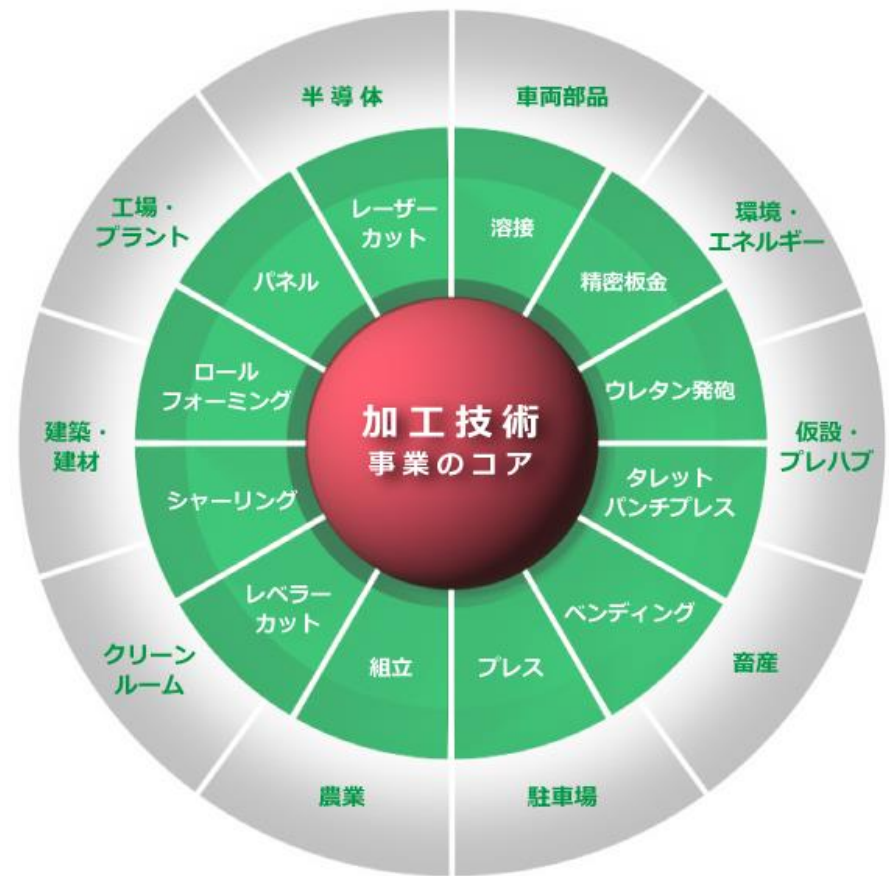
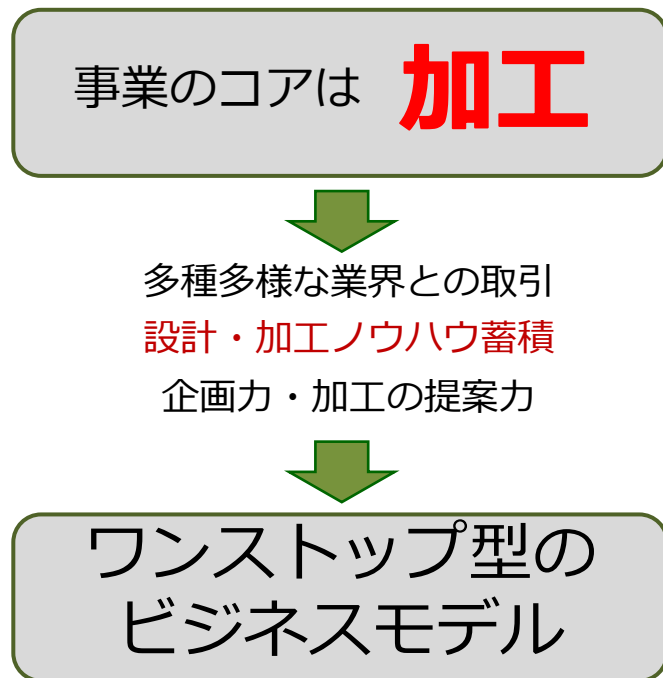
積極的な
設備投資

多種多様な
加工設備

オールインワン加工

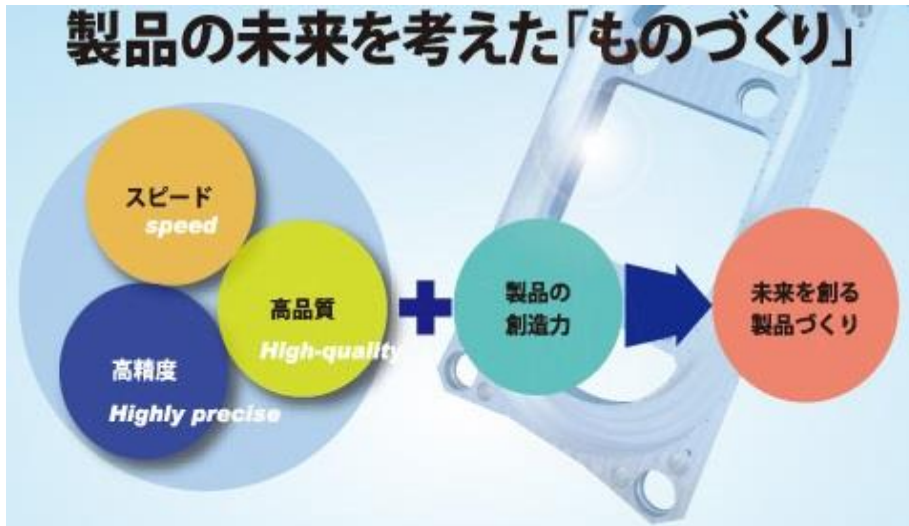
低コスト・短納期

多種多様な業界との取引により設計・加工ノウハウを蓄積



綾目精機株式会社（2017年4月子会社化） 金属精密切削加工業

産業用**機械の部品**（大型印刷機・医療機器・航空機等の部品）から農業用機械の部品まで、幅広い分野の多様な受注に対応。素材の調達、切削、焼入れ、メッキ、組立てまで一貫した加工を実現。



機械部品

本 社： 広島県府中市
代 表 者： 代表取締役社長
石田 徹
設 立： 1988年4月
資 本 金： 10,000千円
決 算 期： 7月31日

株式会社ダイリツ（2018年3月子会社化） 空調関連機器製造業

防火ダンパーは、一般の換気・冷暖房設備のダクト（風道）が建築物の防火区画を貫通する場合に設置する丸形または長方形の特定防火設備です。火災によりダクト内の温度が急激に上昇した場合、温度ヒューズが溶断することにより自動閉鎖装置が作動してダンパーの羽根が閉鎖し、煙や炎がダクトを通じて他区画に伝播することを防止するものです。

各種プラント・発電所・トンネル等々、多様な用途に対応する**オーダーメイドの特殊製品の製造**に注力。



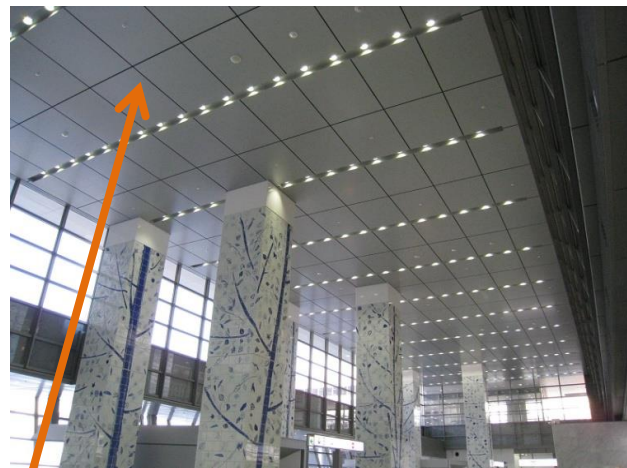
本 社：愛知県名古屋市
代 表 者：代表取締役社長
山 島 親 幸
設 立：1961年5月
資 本 金：50,000千円
決 算 期：6月30日



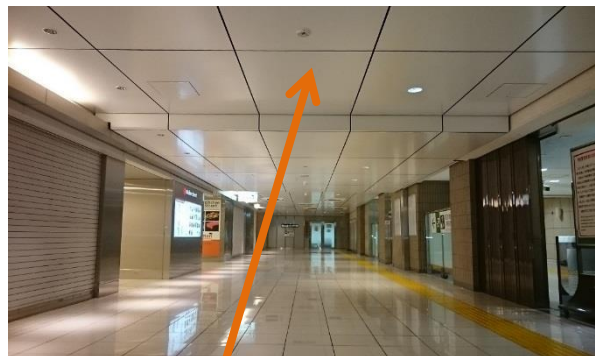
風量調節ダンパー、防火ダンパーなど高精度なオリジナルダンパー



①アートパネル：外部天井パネル
(JR博多駅)



②天井パネル：内装化粧パネル
(JR博多駅)



③天井パネル
(JR東京駅キッチンストリート)



④外壁パネル
(アルファロメオ店舗)



⑤デザインシェードウォール
(ポリスミュージアム：東京銀座)

吾孺ゴム工業株式会社（2016年3月子会社化）

原料ゴムからの一貫生産を行うゴムメーカーとして、土木製品、一般工業製品、建築製品、車輛用品、道路用品を製造。

ゴムの加工技術やノウハウに裏付けされた豊富な販売実績を有し、堅調に業績が推移。

本社・工場	:	群馬県藤岡市
代表者	:	代表取締役社長 石田 徹
設立	:	1982年7月
資本金	:	20,000千円
決算期	:	6月30日

自社製品 1995年 阪神淡路大震災後に開発



エキスパンションシール
（駅のホーム）



パイプ継手 エルボ
（重機メーカー向け）

強み

●景気に左右されない事業基盤・安定した**収益力**

日創エンジニアリング株式会社（2016年4月設立）

当社が「太陽電池アレイ支持架台」や「耐火パネル」を供給し、日創エンジニアリングが設置工事を行うことにより「材工一括受注」体制を構築。



太陽電池アレイ支持架台（設計、調達、設置工事、電気工事）



耐火/不燃断熱パネル（設計、調達、設置工事、内装仕上げ）

本 社 : 東京都台東区

代 表 者 : 代表取締役社長
大里 和生

設 立 : 2016年4月

資 本 金 : 20,000千円

決 算 期 : 8月31日

強み

● 金属加工事業との材工一括受注体制による営業提案力の向上

- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 今後の事業展開
- 4 業績の概況と今後の見通し

太陽光発電設備の認定及び稼働状況 (固定価格買取制度に基づく)

太陽光発電市場は**中小型案件から大型案件**にシフト

認定設備に対する設備導入量は全体で69.8%が稼働
当社の案件で比率の高い2,000kw以上では44.7%が稼働

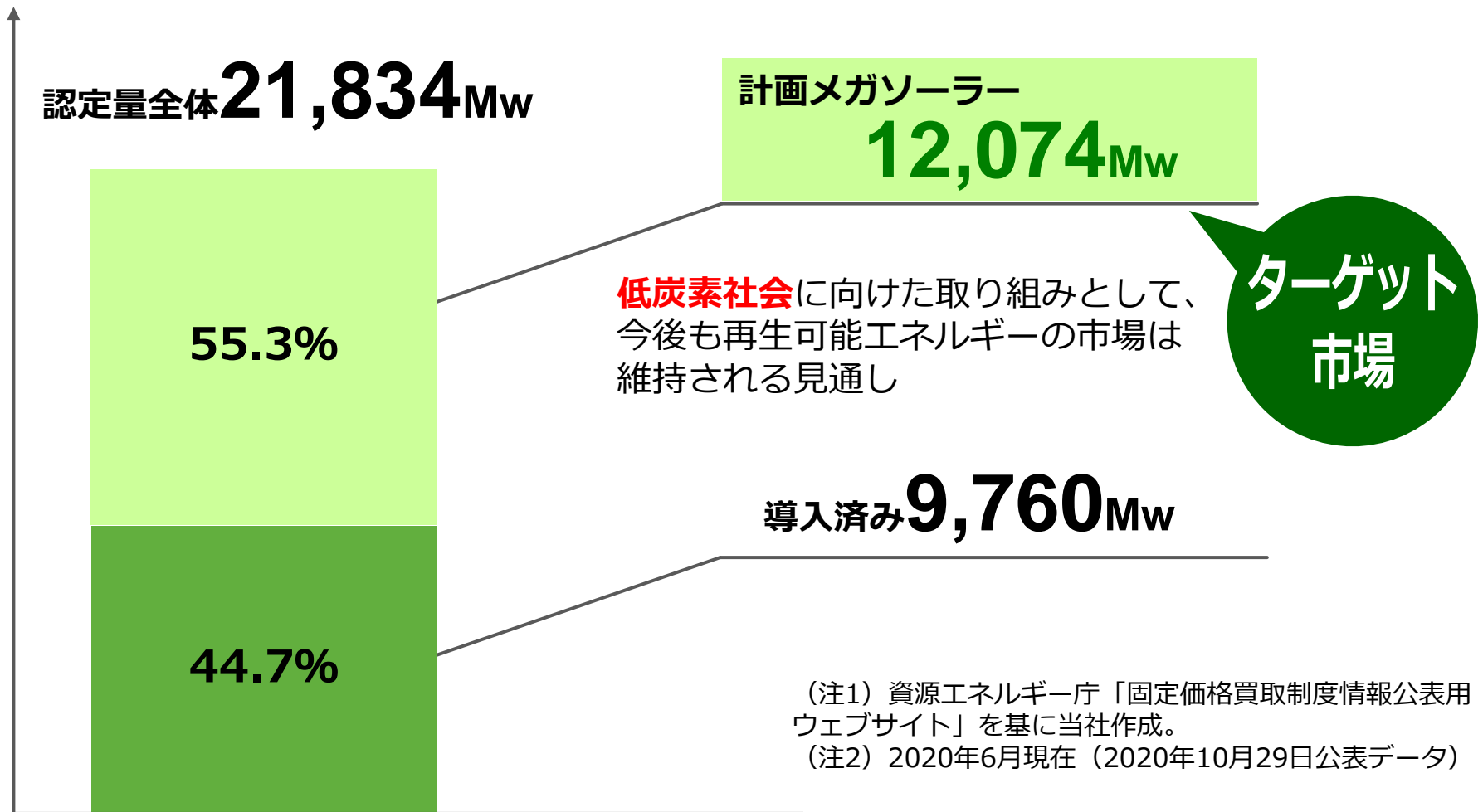
(単位：Mw)

	認定量	導入量	導入比率
10kw未満	7,290	7,032	96.4%
10kw以上50kw未満	21,583	15,830	73.3%
50kw以上500kw未満	5,601	4,388	78.3%
500kw以上1,000kw未満	5,274	4,508	85.4%
1,000kw以上2,000kw未満	12,761	10,403	81.5%
2,000kw以上	21,834	9,760	44.7%
合計	74,342	51,921	69.8%

(注1) 資源エネルギー庁「固定価格買取制度 情報公表用ウェブサイト」を基に当社作成。

(注2) 2020年6月現在 (2020年10月29日公表データ)

今後の太陽電池アレイ支持架台市場 (固定価格買取制度に基づく)



今後の事業の方向性

大型メガソーラーの市場は維持されるものの、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のため、積極投資を行う



積極的な
投資

M&Aの推進

- 投資枠 **50億円**
- 事業領域の拡大(事業の多角化)

事業の構造改革

- パネル事業への設備投資
- 投資予定額 **20億円**
- 特定分野に偏らない事業構造へと構造改革を進めていく

M & Aの推進

(1) M & A・アライアンスによる**事業領域の拡大**（事業の多角化）

- 「加工」をキーワードに、素材を問わず加工技術・ノウハウを集め、モノづくり、周辺事業へと積極的に事業領域を拡大し、「**加工のプラットフォーム**」を創出

(2) 3年間で**上限50億円**のM & A・アライアンスに係る**戦略投資枠の再設定**

- 経営の機動性を高めるため、3年間（2019年8月期～2021年8月期）で上限50億円の戦略投資枠を再設定し、**成長を加速**。
- 前中計で設定した戦略投資枠を**リセット**し、同額で**再設定**

過去中期経営計画の振り返り（2016年8月期～2018年8月期）

※前中計初年度実績：吾孺ゴム工業株式会社（投資額900百万円）

※前中計2年目実績：綾目精機株式会社（投資額480百万円）

※前中計3年目実績：株式会社ダイリツ（投資額51百万円）

3社のM & A投資1,431百万円に対し、増収効果は2,745百万円、増益効果は309百万円（11.2%・営業利益ベース）

※上記の想定される投資効果については、吾孺ゴム工業株式会社及び株式会社ダイリツの2020年6月期、綾目精機株式会社の2020年7月期実績値を加算し、算定しております。

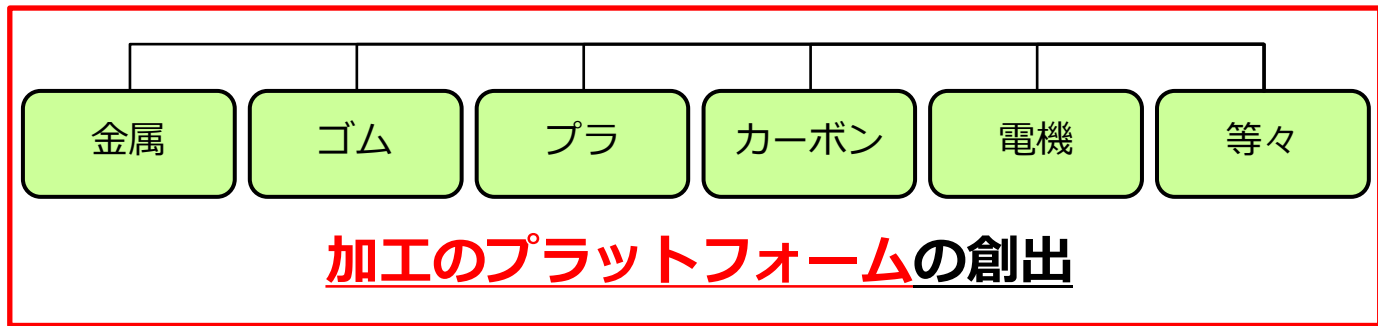
M & Aの推進

M&A・アライアンス

最重要戦略
事業領域拡大
(多角化)

事業の多角化

加工 ↓ をキーワード



ビジネスモデル

加工の総合商社

加工ノウハウの集約

加工の**総合提案**
(加工をオールインワンで提供)

差別化された製品開発
(開発・設計・デザイン)

競争力と収益力を生み出す

設備投資による事業の構造改革 (福島工場に係る設備投資計画)

設備投資の目的

- 耐火パネルや不燃断熱パネルに係る市場ニーズへの積極的な対応を図る
- 耐火パネルや不燃断熱パネルの生産性向上を進める
- 特定分野に偏らない事業構造へと構造改革を進めていく

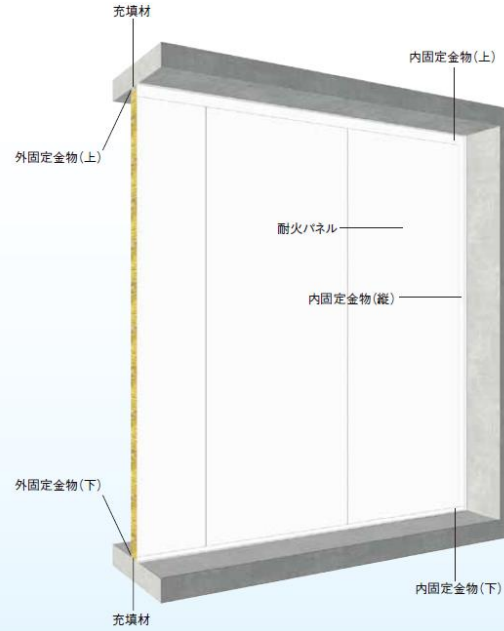
設備投資の内容

- ①福島工場新工場棟の**新設**
- ②耐火パネル生産ラインの**増設**
- ③不燃断熱パネル生産ラインの**新設**

主な用途

物流倉庫
食品工場
低温倉庫
クリーンルーム
その他工場等

天井・内装用・
外装用のパネル
として使用



投資
予定額 **最大
20億円**

調達方法
自己資金
及び借入金

稼働予定
2022年4月

パネル事業への設備投資

- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 今後の事業展開
- 4 業績の概況と今後の見通し

2020年8月期決算概況（連結）

（単位：百万円）

	2019.08期	2020.08期					
		計画	実績	前年同期比		計画比	
売上高	13,473	8,000	8,389	△ 5,083	△37.7%	+ 389	+4.9%
売上総利益	3,385	1,780	2,005	△ 1,380	△40.8%	+ 225	+12.7%
（売上総利益率）	(25.1%)	(22.3%)	(23.9%)	-	(△1.2P)	-	(+1.7P)
営業利益	1,954	550	741	△ 1,212	△62.1%	+ 191	+34.8%
（営業利益率）	(14.5%)	(6.9%)	(8.8%)	-	(△5.7P)	-	(+2.0P)
経常利益	1,976	550	758	△ 1,218	△61.6%	+ 208	+37.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,309	360	533	△ 776	△59.3%	+ 173	+48.1%

売上高は8,389百万円（前年同期比37.7%減）

●新規取引先の開拓や既存取引先の深耕に積極的に取り組みましたが、太陽電池アレイ支持架台の大型案件の一定の引き合いはあるものの受注は減少し、売上高は8,389百万円。なお、当社グループにおける新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に起因する直接的な影響は軽微でありました。

営業利益は741百万円（前年同期比62.1%減）

●売上高の減少に伴い、営業利益は741百万円（営業利益率8.8%・前年同期比5.7 P 減）。

2020年8月期決算概況（セグメント）

（単位：百万円）

	2019.08期	2020.08期	前年同期比	
売上高	13,473	8,389	△ 5,083	△37.7%
金属加工事業	10,026	5,997	△ 4,028	△40.2%
ゴム加工事業	1,196	1,165	△ 30	△2.6%
建設事業	2,250	1,226	△ 1,023	△45.5%
セグメント利益	2,373	1,047	△ 1,325	△55.9%
金属加工事業	1,900	735	△ 1,164	△61.3%
ゴム加工事業	180	188	+ 8	+4.6%
建設事業	292	122	△ 169	△58.0%
調整額	△ 418	△ 305	+ 112	—
営業利益	1,954	741	△ 1,212	△62.1%

（注）調整額（セグメント利益の合計額と営業利益との差異）は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用

業績見通し（連結）

（単位：百万円）

	2020.08期	2021.08期		
		計画	前年同期比	
売上高	8,389	8,800	+ 410	+4.9%
金属加工事業	5,997	6,322	+ 325	+5.4%
ゴム加工事業	1,165	977	△ 188	△16.1%
建設事業	1,226	1,500	+ 273	+22.3%
売上総利益	2,005	2,030	+ 24	+1.2%
（売上総利益率）	（23.9%）	（23.1%）	—	（△0.8P）
営業利益	741	780	+ 38	+5.2%
（営業利益率）	（8.8%）	（8.9%）	—	（+0.0P）
経常利益	758	790	+ 31	+4.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	533	530	△ 3	△0.6%

- （1）金属加工事業における太陽電池アレイ支持架台の大型案件については当連結会計年度と同程度、耐火パネル等の金属パネルについては堅調に推移する見込み。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響が金属加工事業及びゴム加工事業において一部見受けられるものの、当社グループ全体への影響については限定的で軽微なものになると想定しており、売上高は8,800百万円（前年同期比4.9%増）。
- （2）営業利益は、増収に伴い、780百万円（同5.2%増）、営業利益率は前年同期と同程度の8.9%。
- （3）親会社株主に帰属する当期純利益は、530百万円（前年同期比0.6%減）。
- （4）引き続きM&A戦略を積極的に推進、事業領域の拡大を目指す（M&Aの数値は計画に含めておりません）。

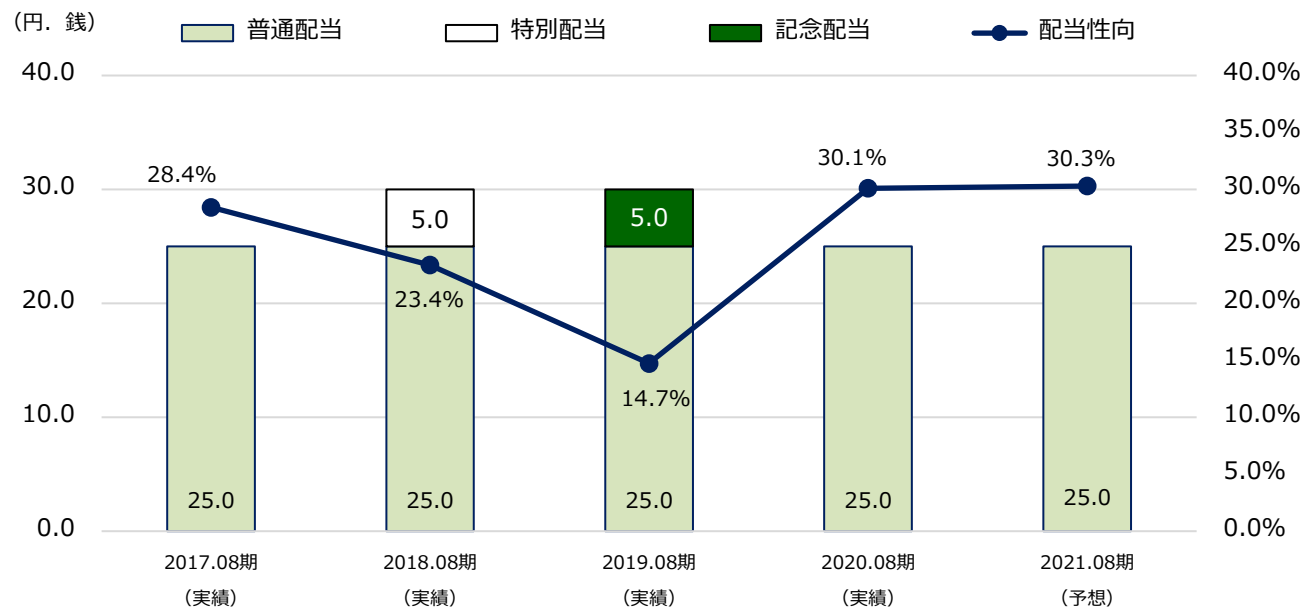
配当方針

配当に関する基本的な考え方

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、今後の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。

(円. 銭)

	2017.08期 (実績)	2018.08期 (実績)	2019.08期 (実績)	2020.08期 (実績)	2021.08期 (予想)
記念配当	—	—	5.0	—	—
特別配当	—	5.0	—	—	—
普通配当	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
計	25.0	30.0	30.0	25.0	25.0
配当性向	28.4%	23.4%	14.7%	30.1%	30.3%



お問い合わせ先・ご注意事項

お問い合わせ
先

日創プロニティ株式会社 経営企画室

TEL: 092-555-2880

<https://www.kakou-nisso.co.jp/>

ir@kakou-nisso.co.jp

<ご注意事項>

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。